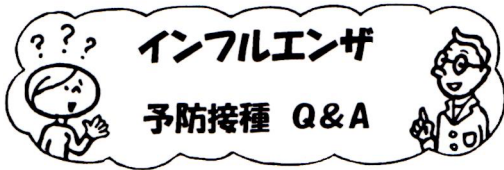




平成 29 年 11 月 1 日

白鳩保育園

保健衛生係



風邪よりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。

0,1,2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

Q 去年予防接種を受けたから今年は受けなくて良い？

A 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の3つがあり、年によって流行する型が違います。毎年予防接種を受けることで効果が期待できます。

Q 接種の方法は？

A 生後6か月から受けられます。13歳以下の子どもは2回接種が必要。1回目の接種の後、2~4週間あけて2回目を接種します。

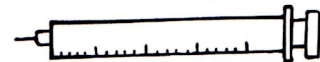
予防接種の効果が続く期間は？

A 接種後、効果が現われるまでに約2週間かかり、その後半年くらいは持続します。

Q いつ頃受けた方が良いの？

A 流行は12月頃から始まります。それまでに免疫を付けておきたいので、1回目は11月初め頃に接種しましょう。

定期予防接種を受けていますか？



保育園は、集団生活の場です。現在、定期の予防接種になっているものは、病気の重症化を予防するだけでなく、他のお子さんへの感染拡大を防ぐ意味でとても大切です。今までに必要な予防接種を済ませているか、確認しましょう。



11月より、ぱんだ、きりんぐみでフッ化物うがいを実施します。

◆フッ化物のはたらき……①歯質の強化 ②初期虫歯の修復 ③抗菌作用

◆フッ化物うがいとは……低濃度のフッ化物洗口液(5ml)を口に含み、約1分間ブクブクうがいすることで虫歯を予防する方法です。
方法が簡便で、安全性・確実な予防効果・経済性などに優れ、保育園・幼稚園・学校などでみんなで行うのに適しています。
当園では、週に2回(月・金)の午睡前の時間に実施します。

◆実施する時期……歯は、生えてから2~3年が最も虫歯になりやすいため、永久歯が生え始める5歳頃から、永久歯が生えそろう中学生頃まで継続して行うことが効果的です。

